

革命前の共産主義者の任務と革命後の共産主義者の任務

まえの世代の任務は、ブルジョアジーをたおすことであつた。その当時には、主要な任務は、ブルジョアジーを批判し、大衆のあいだにブルジョアジーにたいする憎悪を呼びさまし、階級意識を發達させ、味方の勢力を結集する能力をもつことであつた。新しい世代の当面する任務はもっと複雑である。諸君は自分たちの全勢力を統合して、資本家の攻撃にたいして労働者と農民の権力を維持しなければならないだけではない。これは、やらなければならないことである。このことを諸君はりっぱに理解していたし、共産主義者はこのことをはっきりと認識している。しかし、これだけでは不十分である。諸君は共産主義社会を建設しなければならない。仕事の前半は多くの点でなしとげられた。古いものは当然破壊されるべきものであつたが、そのように破壊され、当然廢墟の山となるべきものであつたが、そのように廢墟の山になっている。土壤はきれいにされた。そして、この土壤のうゑに若い共産主義的世代が共産主義社会を建設しなければならないのである。諸君が当面するのは建設の任務である。そして、現代の知識のすべてを身につけ、共産主義を、できあいの棒暗記した公式、助言、処方箋、訓令、綱領から、諸君の直接の仕事を統合する生きたものに変え、共産主義を諸君の実践活動の指針に変えることができはじめて、諸君はこの任務を解決できるのである。

これこそ、若い世代全体の陶冶、教育、向上という事業で、諸君が指針としなければならない任務である。すべての青年男女が共産主義社会の建設者とならなければならないが、その幾百万の建設者のなかで、諸君は第一の建設者とならなければならない。労農青年の全大衆をこの共産主義の建設に引きいれないなら、諸君は共産主義社会を建設することはできないであらう。

第 31 卷『青年同盟の任務』P287

1920 年 10 月 2 日

コメント

われわれの任務は、ブルジョアジーをたおすことである。現在の主要な任務は、ブルジョアジーを批判し、大衆のあいだにブルジョアジーにたいする憎悪を呼びさまし、階級意識を發達させ、味方の勢力を結集する能力をもつことである。そして、同時に、政治・経済・思想の三つの戦線での民主主義(労働者階級のヘゲモニー)のあり方について、“経済は資本のためにあるのではなく国民のためにある、”という社会に接近するために国民と共に模索しなければならない。